



第 64 回 (平成 27 年度)

彦根市美術展覧会

アートフェスティバル ～美術と音楽のコラボ～

展示目録

会 期 9月13日(日) ～ 9月20日(日)

※ただし、9月14日(月)は休館です。

時 間 9時30分 ～ 17時00分

入場無料

会 場  ひこね市文化プラザ (彦根市野瀬町187-4)

日 本 画 第1・2研修室 (メッセホール棟 2階)

洋 画 第1・2リハーサル室 (グランドホール棟 2階)

彫 刻 メッセホール (メッセホール棟 3階)

美術工芸 第3研修室 (メッセホール棟 2階)

書 メッセホール (メッセホール棟 3階)

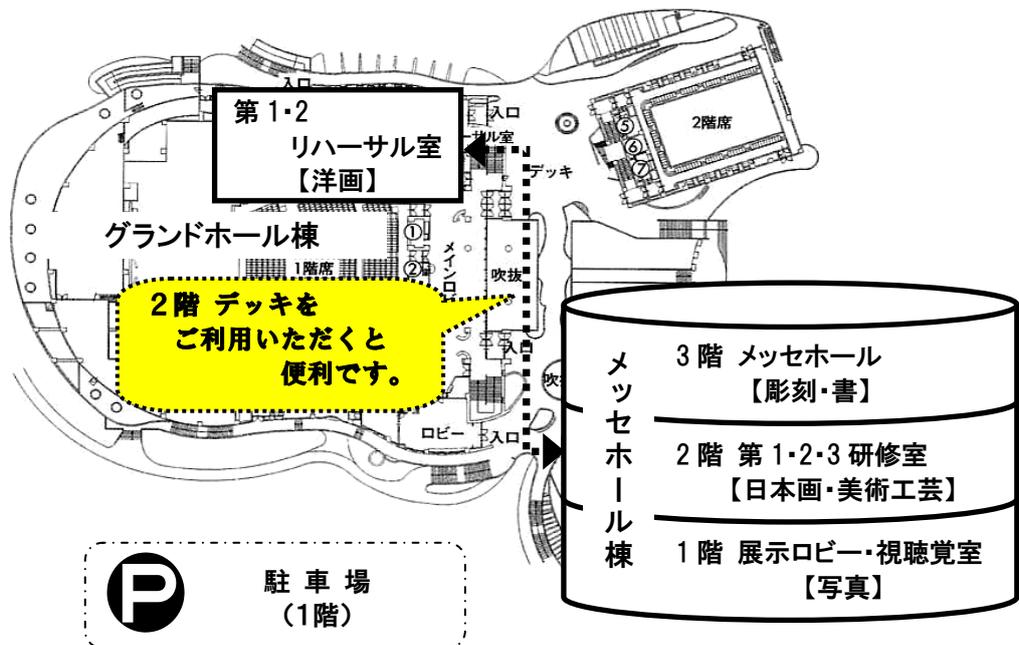
写 真 展示ロビー・視聴覚室 (メッセホール棟 1階)

*** 展示会場での写真撮影はご遠慮願います ***

< も く じ >

日 本 画	1
洋 画	5
彫 刻	11
美 術 工 芸	14
書	18
写 真	25

【会場案内図】（2階平面図）



日本画部門

審査員：竹内 浩一 先生

京都府出身 京都市右京区在住

1977年 第4回山種美術館賞展 大賞受賞
1979年 第11回日展 特選受賞
1991年 第4回京都美術文化賞 受賞
1996年 第9回MOA美術館 岡田茂吉大賞展 大賞受賞
2010年 京都市文化功労賞 受賞
現在 一般財団法人日本中国文化交流協会 常任委員
山種美術館 理事

<総評>

現代の日本画は混乱するほど多種多様の表現で溢れている。

彦根市美術展覧会の審査をさせていただき感じたのは、近江の山川草木に心馳せた作品が多くみられた。日本画は写生を大切にしてきた。上手く描くより対象の生命と一体になる哲学性を先人は示している。どの時も普遍の美の生れる意を知っておきたい。



■ 市展賞 ■

「登り窯」 松居 直子

登り窯はよく描かれるが、受賞作は常識にならず、作者が感動したときめきが見る者に伝わってくる。

画面のリズム感が生き生きしている。



■ 特選 ■ <京都新聞賞>
「風雅」 山田 政一

川辺の石垣に建つ木造の家を配した絵だが風雅な趣きがある。何んでもない一景だが作者の心馳せが密度のある心象の作品に仕上げている。



■ 特選 ■ <読売新聞大阪本社賞>
「みのり」 北村 登久

枇杷が描かれているが、実に感覚的で色具も単的にオレンジや黄。そして緑を大きなタッチの筆を置くように描かれ魅力がある。



■ 特選 ■ <KBS 京都賞>
「朝つゆ」 熊谷 滋美

小さな花をつけた草木を当りまえとせず、主観から幻想性をイメージにふくらませ、クモの糸を張りめぐらせ奥深い世界をクローズアップさせている。



■ 無鑑査奨励賞 ■
「休耕田にも春が」 深田 澄江

秋に刈った田圃が春を迎え土の匂いの中で新しい草が芽をふく。レンゲの二株につけたピンクの花が暖かく新鮮だ。

日本画部門

展示場所：第1・2研修室（メッセホール棟 2階）

展示No	賞	題 名	氏 名	備 考
1		蕪	藤野 和子	
2		袖 子 籠	長谷川 みよ	
3		春 う ら ら	澤 淑 子	
4		扉 の 向 う に は	日 永 清 重	
5		菊	馬 場 初 代	
6		蘭	大 村 千 代 子	
7		と う も ろ こ し	石 原 み ち 子	
8		親 子 鴨	小 澤 弘	
9	佳 作	黄 昏 れ て	今 居 桂 子	
10		か た ら い	堀 居 千 恵 子	
11		け や き の 歩 み	早 崎 清 美	
12		菖 蒲	平 松 越	
13		梅 雨	武 藤 愛 子	
14		枝 折	い と う け い ろ う	
15		薔 薇	杉 本 恵 美 子	
16		巖	竹 田 建 行	
17		春 待 つ 余 呉	北 岸 久 代	
18		高 知 で の 頂 き 物	長 崎 典 子	
19		桂	岡 村 康 臣	
20		「虫籠窓」のある家	青 山 宏 子	
21		薫 風	丸 山 リ ツ 子	
22		薔 薇	荒 居 年 子	
23		グ リ ー ン カ ー テ ン	滝 沢 千 代 子	
24	市 展 賞	登 り 窯	松 居 直 子	
25	佳 作	花 蔭	牧 野 昌 代	
26	特 選	風 雅	山 田 政 一	京 都 新 聞 賞
27		チ ュ ー リ ッ プ	曾 我 光 博	
28		石 垣	北 村 妙 子	
29		初 秋	澤 邊 雅 子	
30		春 の 残 り 大 根	松 本 喜 美	

展示No	賞	題 名	氏 名	備 考
31		自然のよろこび	北村 幸子	
32		晩 春	寺村 やゑ	
33		秋 輝	山 岡 勝	
34		庭 の 片 隅	成内 節子	
35		「 山 の 辺 」	高田 とみ子	
36		芙 蓉	小島 充子	
37		木 蓮	志摩 まゆみ	
38		山 あ じ さ い	高田 昭子	
39		冬 野 菜	竹内 歌子	
40	特 選	朝 つ ゆ	熊谷 滋美	KBS京都賞
41	特 選	み の り	北村 登久	読売新聞大阪本社賞
42		時 の 流 れ	本 田 充	
43	無鑑査奨励賞	休 耕 田 に も 春 が	深田 澄江	無 鑑 査
44		サイカチのある芹川のけやき道	谷村 純子	無 鑑 査
45		春 待 ち 草	立江 恵美	無 鑑 査
46		栖 蘆	竹内 浩一	審 査 員
47		こ わ れ た 籠	寺村 晴雄	委 員
48		静 寂	眞野 康洸	委 員



洋画部門

審査員：池田 良則 先生

京都府出身 京都府京都市在住

1977年 日展 初入選（以降毎年入選）
1984年 日展 特選受賞
1994年 白日会展 初入選、準会員に推挙
1997年 日展 特選受賞
1999年 文化庁派遣芸術家在外研修員としてメキシコ・グアナフアト大学
留学、客員教授を兼任
2001年、2005年、2008年、2012年、2015年
日展 審査員
2002年 白日会展 U賞受賞
2011年 白日会展 伊藤賞受賞
現 在 公益社団法人日展 会員
白日会 常任委員
京都精華大学 非常勤講師
大阪芸術大学 客員教授

<総 評>

静謐な湖北の風土性を全体から感じます。理智的な作品が多くそれは彦根の歴史や伝統文化から来るのかと思います。油彩画について言えば油絵具の特性を活かした表現方法がもっとあっても良いかと思いました。



■ 市展賞 ■

「静寂」 澤邊 雅子

ワイドな視点、空間の拡がり、いつかどこかで見た様な不思議な心の中の風景を思わず魅力がある。



■ 特選 ■ <中日新聞社賞>
「不確かな存在」 小松原 正二

自画像かと思いますが、自分を見つめる事で内面まで描き出そうとされている迫力を感じます。



■ 特選 ■ <国際ソロプチミスト彦根 会長賞>
「廃道 mushiyama」 宮田 治男

現実には在るのでしょうか作者の心象風景としての想いが伝わって来る様です。



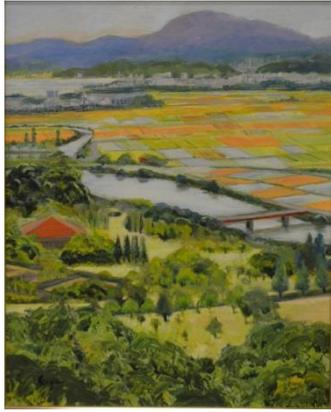
■ 特選 ■ <平和堂財団 理事長賞>
「石垣の民家」 広瀬 巖

菅浦ではないでしょうか、湖北の湿潤な空気感を水彩の特性を活かした表現でまとめられています。



■ 特選 ■ <滋賀彦根新聞社賞>
「夏」 竹原 貞子

身近にある何でも無い静物を構成し形や色の配地も良く油絵具の持ち味を活かした作品となっています。



■ 特選 ■ <彦根南ロータリークラブ 会長賞>
「麦秋」 江竜 美子

伸びやかな田園と水路、湖面への奥行、近景の処理の上手さ、色面の美しさ、近江の風土を感じます。



■ 特選 ■ <BBC びわ湖放送賞>
「裏通り」 小田柿 弘子

何でも無い露地に魚具らしきものもあり生活している人の気配と奥の日溜への導線が上手な方です。



■ 特選 ■ <彦根市教育委員会 教育長賞>
「故郷を思ふ」 宮地 正子

蓮畑でしょうか、何でも無い風景ですが故郷を愛しむ素直な気持ちが伝わって来る作品です。



■ 無鑑査奨励賞 ■
「ローテンブルク」 比喜多 利彌

画面構成のしっかりした高低差と奥行の表現を理解されている方です。遠景の家並が魅力となっています。

洋画部門

展示場所：第1・2リハーサル室（グランドホール棟 2階）

展示No	賞	題 名	氏 名	備 考
1		伊 吹 発 電 所	吉 内 隆 夫	無 鑑 査
2		回 想	小 田 柿 寿 郎	無 鑑 査
3		ピ ン ー 2015	門 野 三 喜 重	無 鑑 査
4		森 の 中 の お 店	百 々 修 子	無 鑑 査
5		初 秋 の た わ む れ	西 脇 操	無 鑑 査
6		西 の 湖 新 緑	西 澤 廣 子	無 鑑 査
7		夏 の 日	福 原 善 行	無 鑑 査
8		里 山 の 春	久 田 知 恵 子	無 鑑 査
9		石 垣	石 原 省 吾	無 鑑 査
10		踊 る 貴 婦 人 オ ン シ ジ ウ ム の 別 名	戸 田 雅 子	無 鑑 査
11		春 を 待 つ 奥 伊 吹	土 田 由 一	無 鑑 査
12		憩 の 間	上 田 喜 美 子	無 鑑 査
13	無鑑査奨励賞	ロ ー テ ン ブ ル ク	比 喜 多 利 彌	無 鑑 査
14		遠い約束（ヒロシマ）	北 川 八 恵 子	無 鑑 査
15		清	佐 渡 一 清	委 員
16		静 かな 午 后 （メキシコ、サンクリストバル）	池 田 良 則	審 査 員
17		構	土 屋 幸	委 員
18		赤 日 野	嶋 貫 佑 一	委 嘱
19		ランプと貝殻と・・・	菅 森 菜 穂 子	無 鑑 査
20		卓 上	吉 岡 た み 子	無 鑑 査
21		芹 川 堤	久 川 邦 代	無 鑑 査
22		舟 溜 り	押 谷 た か 子	無 鑑 査
23		秋 深 ま り て	坂 東 美 代 子	
24		静 寂（菅浦集落）	堀 畑 末 一	
25		孔 雀 だ あ い	高 橋 悠 輝	
26		風 に 泳 ぐ	加 納 玲 子	
27		緑 陰	伊 藤 寿 美 江	
28		憩 い の 一 時	北 川 彰	
29	特 選	故 郷 を 思 心	宮 地 正 子	彦根市教育委員会 教育長賞
30	特 選	夏	竹 原 貞 子	滋賀彦根新聞社賞

展示No.	賞	題 名	氏 名	備 考
31		F I S H (魚)	竹田 建行	
32		ギターを弾く女性	喜多 善一郎	
33		秋 桜	辻 廣之	
34		道 の 辺	小泉 英子	
35		清 流	百田 勝彦	
36	佳 作	この風景いつまでも	夏川 郁子	
37		晩 秋	小林 知恵子	
38		土蔵 (高宮町)	西村 利孝	
39		病室の窓から	石居 あい子	
40		15' お・か・え・り・	西村 通子	
41	特 選	麦 秋	江竜 美子	彦根南ロータリークラブ 会長賞
42	特 選	石垣の民家	広瀬 巖	平和堂財団 理事長賞
43		突 風	川崎 みどり	
44		雨あがりの紫陽花	坂野 諒子	
45		彦根港、七月	川瀬 加代子	
46		ヴェニス港とドゥオーモ	野坂 喜則	
47		漁港の屋下がり	荻田 明美	
48		花もまた夕日を照らす	田村 欣実	
49		晩 夏	関 寿賀子	
50		M A G U M A	川村 嘉則	
51		溪 流	村中 弘治	
52		秋	増田 美代子	
53	市展賞	静 寂	澤邊 雅子	
54	佳 作	冬の伊吹山	小林 淳二	
55		精霊の宿る樹	川口 昭次郎	
56		飛べ高島の空	目戸 てるよ	
57		ふと、気になった場所	碓井 静子	
58		春待つ伊吹	瀬戸口 園子	
59		雨あがり	八木 清子	
60		漁港寸景	高田 徳一	
61		追憶～ひだまりの中で～	後藤 亜緒衣	
62		木陰の地藏さん	塩谷 雅子	

展示No.	賞	題 名	氏 名	備 考
63		Happy Anniversary	西野 和子	
64		午 後 の 静 寂	馬淵 万智子	
65	特 選	廃 道 mushiyama	宮田 治男	国際ソロプチミスト彦根 会長賞
66	特 選	不 確 かな 存 在	小松原 正二	中日新聞社賞
67		花の狩人（八幡・背割堤）	磯部 幸子	
68		心 と は	中野 裕子	
69		バガンタ景（明日へ）	木下 二二男	
70		天然記念物・ハナノキ	杉原 慧子	
71		想 い	山田 博子	
72		残 雪 の 伊 吹	中野 正雄	
73		ドライフラワーと人形たち	執行 明美	
74		喜 怒 哀 楽	嶋田 マサ子	
75		満 開	竹内 圭子	
76		紫 陽 花 の こ ろ	田中 保美	
77		静 寂 の 中 で	川本 京子	
78		西 ノ 湖	宮川 さと子	
79		私 の 宝 物	大橋 好子	
80		い い 湯 で 五 ざ る	村山 義幸	
81		秋 林	米澤 一銭	
82		廃 業	多賀 たき子	
83		釣 り 人	小林 淑	
84		片 隅	田島 久子	
85		棚田（仰木の春）	森 泰 宏	
86		立 葵	北川 晴子	
87		船 溜 り	辻 隆 子	
88		暁 蕾	西村 利彦	
89	佳 作	幸 せ は 雲 の 上 に	北 村 葵	次世代芸術奨励賞
90	特 選	裏 通 り	小田柿 弘子	BBCびわ湖放送賞
91		草 々 6 月	高木 千恵子	
92		ア ニ マ ル 家 族	藤堂 国広	
93		城 跡 の 春	片岡 太助	

彫刻部門

審査員：九後 稔 先生

京都府出身 大阪府箕面市在住

1992年 第10回奈良市展 市展賞受賞
2003年 第35回日展 特選受賞
2006年 第38回日展 特選受賞
2014年 改組 新 第1回日展 審査員
現在 公益社団法人日展 審査員
公益社団法人日本彫刻会 会員
大阪彫刻家会議 会員
箕面市美術協会 会長

<総 評>

出品作品は比較的粒が揃い賞の選考に苦慮しました。残念ながら賞に入らなかった作品には惜しいものもありました。まずは造ることを楽しむことが大切ですが、作品を通して何を伝えたいかを考える必要があります。



■ 市展賞 ■

「tomorrow」 田中 亨

まず流れるような動勢が美しい作品。豊かな量感も表現され女性美を感じさせる秀作だと思います。



■ 特選 ■ <彦根市議会 議長賞>
「花籠」 吉田 好彦

花籠に生けられた花が木彫の持ち味を十分に活かしつつ細部まで表現されています。完成度が高い作品です。



■ 無鑑査奨励賞 ■
「にらめっこ…アッププー」
石原 不二子

にらめっこをしている顔の表情が何とも言えずユーモラス。思い切った造形の処理が面白いと思います。

彫刻部門

展示場所：メッセホール（メッセホール棟 3階）

展示No	賞	題 名	氏 名	備 考
1		晩 秋	藤本 喜一郎	
2		ア カ ゲ ラ	田井中 伊久夫	
3		5 + 5	富永 光男	
4		文楽人形七段目おかる	秋口 亭々	
5	特 選	花 籠	吉田 好彦	彦根市議会 議長賞
6		は る か	九 後 稔	審 査 員
7	市展賞	t o m o r r o w	田 中 亨	
8	佳 作	情 熱 の タ ヒ チ 娘	森下 幹夫	
9		新 粧	石 原 實	無 鑑 査
10	無鑑査奨励賞	にらめっこ…アッププー	石原 不二子	無 鑑 査
11		湖 風 に 吹 か れ て	志 萱 州 朗	委 員
12		土 大 根	小 谷 政 雄	委 員
13		い の り	廣 田 長 弘	
14		大 会 旗	森 武 司	無 鑑 査



美術工芸部門

審査員：安田 佳代 先生

京都府出身 甲賀市在住

1972年 日本現代工芸美術展 初入選
1977年 日展 初入選
1987-99年 現代女流美術展 招待出品
2001年 日本現代工芸美術展 40回記念賞受賞
2002年 日展 特選受賞
2005年 日展 特選受賞
2009年 MIHO MUSEUM 秀明文化賞受賞
2014年 改組 新 第1回日展 審査員
現在 一般社団法人現代工芸美術家協会 本会員
公益社団法人日展 準会員
甲賀匠の里 陶芸教室 指導

<総 評>

色々な分野があり、それなりに訴えられる力強い作品でした。
今後の作品を楽しみにしています。



■ 市展賞 ■

<滋賀県芸術文化祭奨励賞>

「森のしじま」 北村 久美子

形に動きがあり、釉薬もよく焼きあがった作品です。



■ 特選 ■ <近江同盟新聞社賞>
「切り絵2014青森弘前ねぶた」
山本 勝彦

力強く、技術面においても大変するどさを感じます。



■ 特選 ■ <エフエムひこね賞>
「宙瑠」 舟越 一生

漆の模様が形を良くしている作品です。



■ 特選 ■
<彦根みずほライオンズクラブ 会長賞>
「錦秋」 伊藤 美子

形体と色合いと模様が調和され落ち着いた作品です。



■ 無鑑査奨励賞 ■
「海皿」 いとう けいろう

漆での表現がおもしろく今後の作品を期待しています。

美術工芸部門

展示場所：第3研修室（メッセホール棟 2階）

展示No	賞	題 名	氏 名	備 考
1		黒 釉 掛 花 入 れ	佐々 哲三郎	
2		か ご 盛 り い ち ご	廣 野 恭 子	委 員
3		花 器 「 山 河 」	廣 田 長 弘	
4		彦 根 の お 濠 は …	川 端 澄 代	委 員
5		琥 珀	西 沢 弘 美	
6		秋	藤 田 博	
7		花 器 「 深 緑 」	福 永 威	
8	佳 作	帆 船 模 型	松 本 正 忠	
9		「 落 穂 拾 い 」 ミ レ ー 作	谷 本 佳 代 子	
10		真 夜 中 の パ ー テ ィ ー	木 伏 登 志 子	
11		ぼ た ん 色 々	安 田 香 代 子	
12	特 選	切り絵2014青森弘前ねぶた	山 本 勝 彦	近江同盟新聞社賞
13	佳 作	変 り ゆ く 季 節	古 野 信 子	
14	無鑑査奨励賞	海 Ⅲ	いとうけいろう	無 鑑 査
15		桃 の 節 句	中 島 暉 枝	
16		水 辺 の 景 色	近 藤 幸 代	
17		練 り 込 み 銘 々 皿	若 林 千 穂 子	
18		文化刺繍「AKIさん」	古 川 勇	
19		夕 風	澤 村 美 津 子	
20		心 の 叫 び	石 田 正 志	
21		妖 艶 玉 三 郎	秋 口 亭 々	
22		光 り と 影	平 田 昭	
23		加 獲 之 争	吉 田 文 彦	
24		漆 紅 葉	古 川 良 江	
25		黒 う さ ぎ	井 上 禎 子	
26		晩 照	藤 野 圭 世	
27		信 楽 の 遺 産	吉 田 佐 代 子	
28		折 り 鶴	田 井 中 新 次	
29		鹿 の 角 の 兜	山 口 四 郎	
30		鳥瞰 Bird View	長 谷 川 幸 子	無 鑑 査

展示No	賞	題 名	氏 名	備 考
31	佳 作	蒂 付 扁 壺	小 杉 明 生	エフエムひこね賞 審 査 員
32	特 選	宙	舟 越 一 生	
33		花 束 の ゆ く え	安 田 佳 代	
34		黒 土 掛 菖 蒲 彫 絵 鉢	山 本 忍	彦根みずほライオンズクラブ 会長賞
35	特 選	錦	伊 藤 美 子	
36		涙	樋 口 照 美	
37		お 正 月 の 祝 い 膳	近 藤 秀 明	
38		春 の 妖 精 「スプリング・エフェメラル」	菖 蒲 池 周 子	
39	市 展 賞	森 の し じ ま	北 村 久 美 子	滋賀県芸術文化祭奨励賞



書部門

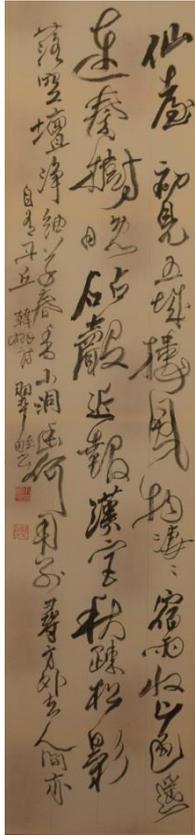
審査員：雲山 一弦 先生

滋賀県出身 甲賀市在住

1989年	第21回日展 初入選
1990年	第7回読売書法展 読売新聞社賞受賞
1992年	第9回読売書法展 読売新聞社賞受賞
1993年	「日本の書展」招待メンバー
1994年	朝日美術精鋭展メンバー
2004年	滋賀県美術協会記念展メンバー
他	滋賀県美術展覧会 特選 連続受賞、 同 芸術祭賞受賞 等、受賞多数
現在	日展会友、日本書芸院一科審査会員、読売書法会理事、 興朋会理事、現創会理事、京都書作家協会理事、 滋賀県美術協会会員、甲賀書展会役員 他

<総評>

形式にこだわらず多様な書表現からは気品があり、本展の文化水準の高さを大いに感じた。筆線からは年を重ねて築きあげた深みや、若い力で書き進めた勢いが観られ双方とも輝きを見た。大へん楽しい時間を持つ事が出来た。



■ 市展賞 ■

「韓翃の詩2首」 小堀 勝子

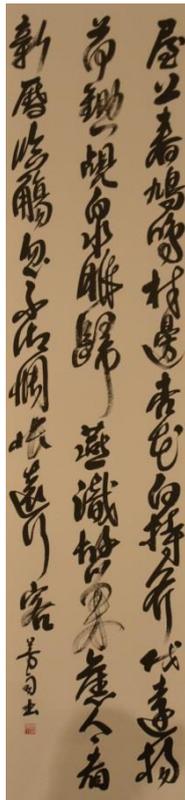
大らかでゆるやかな運筆からは熟練した力を見る。粘りある筆線は全体を明るくさせている。

■ 特選 ■ <彦根ライオンズクラブ 会長賞>

「夜半のつき」 森野 美佐子

扇面のもつ優雅な気風を見事に表現できた。線の切れ味が観る者に心地よさを与えてくれる。





■ 特選 ■

<産経新聞社賞>

「春中田園の作」 松田 江美子

なめらかな運筆でもって行の流れを重んじた作品。行間の美しさは立派。渴筆により一層の工夫を。

■ 特選 ■

<彦根市教育委員会 教育委員長賞>

<次世代芸術奨励賞>

「臨粘葉本和漢朗詠集」 小城 美奈

おだやかな気分と張りつめた書式の中、臨書に真正面から取りくんだ作品。努力の跡が見られる。

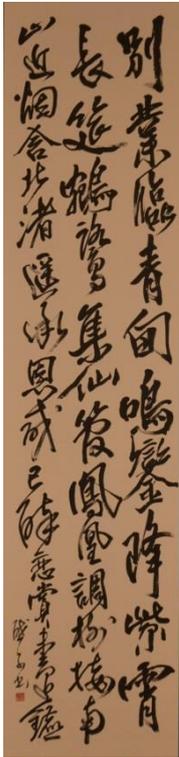


■ 特選 ■

〈彦根観光協会 会長賞〉

「李嶠詩」

遠藤 啓子



中国明代の書をもとに五言律詞を書き上げた。力強い筆致は作品を堂々とさせた。終行に工夫を。

■ 無鑑査奨励賞 ■

「蘇軾句」

安居 孝昌



大きな運筆の中で、字の中の白を創り出した秀作。線の太細はいうまでもなく、接筆の妙がうまい。



書部門

展示場所：メッセホール（メッセホール棟 3階）

展示No	賞	題 名	氏 名	備 考		
1	佳作 特選	米 芾 方 圓 庵 記 の 一 節	内 堀 政 子	彦根ライオンズクラブ 会長賞		
2		漢 詩 句	青 根 正 美			
3		韓 愈 詩	足 田 礼 子			
4		夜 半 の つ き	森 野 美 佐 子			
5		沫 雪 は	北 村 芙 美 子			
6		五 言 絶 句	西 野 源 太 郎			
7		梧 竹 堂 書 話 の 一	山 口 敦 子			
8		韋 應 物 詩 六 首	森 直 子			
9		李 嶠 詩	諸 岡 富 美 子			
10		清 詩 五 首	佐 野 美 千 子			
11		農 を 憫 れ む	山 口 健 作			
12		特選 佳作	春 中 田 園 の 作		松 田 江 美 子	産経新聞社賞
13	故 郷		村 岸 恵 美			
14	梧 竹 堂 書 話		細 溝 恵			
15	七 言 对 句		早 川 清 実			
16	曼 珠 沙 華		岡 野 有 泉	無 鑑 査		
17	妙 法 蓮 華 經		伊 藤 舞 香	無 鑑 査		
18	来 復 詩		中 村 哲	無 鑑 査		
19	南 無 阿 弥 陀 佛		堤 豊 宏	無 鑑 査		
20	禅 語		押 谷 達 彦	無 鑑 査		
21	紫 式 部 日 記 抄		後 藤 有 啓	無 鑑 査		
22	無鑑査奨励賞		蘇 軾 句	安 居 孝 昌	無 鑑 査	
23			隆 熾	雲 山 一 弦	審 査 員	
24		陶 潜 の 詩	高 菽 有 子	委 員		
25		ポケット詩集より五編	内 西 謹 子	委 員		
26		歳 月	山 田 祥 代	無 鑑 査		
27		今 宵 の 月	竹 中 千 代 子	無 鑑 査		
28		前 赤 壁 賦 よ り	西 脇 大 雄	無 鑑 査		
29		曹 植 詩	安 田 祥 代	無 鑑 査		
30		才 葉 抄 よ り	北 川 依 子	無 鑑 査		

展示No	賞	題 名	氏 名	備 考
31	特 選	漱 石 の 恋	川 村 啓 子	無 鑑 査 彦根市教育委員会 教育委員長賞 次世代芸術奨励賞
32		臨 粘 葉 本 和 漢 朗 詠 集	小 城 美 奈	
33		漢 詩 句	楠 木 飛 鳥	
34		天 発 神 識 碑	加 田 絢 美	
35		大 久 保 公 神 道 碑 之 一 節	前 川 夏 実	
36		蘭 亭 序 よ り	堀 部 夏 穂	
37		千 字 文 よ り	藤 居 茉 由	
38		白 氏 詩 卷 よ り	小 川 ひ かり	
39		蘭 亭 序 よ り	林 裕 奈	
40		陶 淵 明 詩	川 村 圭 子	
41	佳 作	五 言 絶 句	寺 村 則 子	
42		七 月 既 望 舟 遊	筒 井 和 彦	
43		范 成 大 詩 秋 の 農 家	小 林 由 喜 枝	
44		朱 熹 詩	福 井 佳 城	
45		茶 湯 一 会 集	上 條 い と 子	
46		五 言 絶 句	成 宮 ま き	
47		李 嶠 詩	遠 藤 啓 子	彦根観光協会 会長賞
48		清 詩 五 首	近 藤 眺 彦	
49		七 言 对 句	望 月 千 舟	
50		秋 の 淡 海 (俳 句 五 首)	堤 笑 子	
51	妙 言	山 下 明 宏		
52	モ ノ ク □	山 藤 歩 未		
53	コ ス モ ス	下 村 菜 月		
54	一 筋 の 光	長 瑞 姫		
55	感 謝	松 浦 幸 伽		
56	涙	小 野 綺 紗		
57	記 憶	大 塚 春 華		
58	寿	辻 村 幸		
59	南 無 阿 弥 陀 仏	近 藤 喜 代 志		
60	百 人 一 首 (七 首)	橋 本 洋 子		
61	佳 作	臨 和 漢 朗 詠	田 中 八 重 子	
62		古 の も の が た り	松 岡 孝 子	

展示No	賞	題 名	氏 名	備 考
63	市展賞	韓 翊 の 詩 2 首	小 堀 勝 子	
64		香 紙 切	岡 田 知 歩	
65		良 寛 の 歌	中 野 裕 子	
66		古 今 集 二 首	山 下 かつ 江	
67		瑞 気 集 門	西 臺 紅 峰	
68		七 言 句	小 森 寿 美 江	
69		王 昌 齡 詩	八 木 知 世	
70		漢 詩 (蘇 軾 詩)	西 川 一 男	
71		共 生	宮 地 正 子	



写真部門

審査員：八木 祥光 先生

愛知県出身 愛知県豊橋市在住

写真展覧会 ニコンサロン
フジフォトサロン個展「露子の生家」
ペンタックスギャラリー

写真集 雨の花
花遊歴 など約30冊

現在 日本写真家協会 会員
愛知大学オープンカレッジ 講師
NHK文化センター 講師（名古屋・豊橋）

<総評>

応募者はベテランから初心者と入り混じり、被写体も風景から人物とバラエティーに富み楽しく審査させていただきました。技術的なことも大切ですが、感動した事物を自分自身の表現で感性ある写真に写しとることを心掛けて下さい。



■ 市展賞 ■

「湖畔の夕照」 若林 武司

渚が光る季節を選び、画面に奥ゆきをあたえ、メインに大木を持ってきてまとめたところが光る。



■ 特選 ■ <NHK大津放送局長賞>
「泥だらけの天使」 前河 栄次

シチュエーションがよく、人物達の動作を順光で力強く表現されていて作者人柄と力量が伝わってくる。



■ 特選 ■ <彦根タイムス社賞>
「明日への階」 夏川 宗一

クリスマスシーズンによく見かける階段風景だが、人物がモダンダンサー風で目を引いた。



■ 特選 ■ <彦根ロータリークラブ 会長賞>
「夜明けの峠道」 高田 徳一

画面右に紅葉を入れたことで季節感が出ている。雲海と光跡のすばらしいところを写した優作。



■ 特選 ■ <彦根文化新聞社賞>
「急ぎ足」 伊吹 章

目を引く大きな看板、それだけだと記録写真に。大股歩きの男性を配した事でシャシした写真になった。



■ 特選 ■ <朝日新聞社賞>
「脅威」 強力 美津雄

小魚を追う大魚。大が小を蹴散らす珍しいところを俯瞰で撮影。光りと波紋が効果を上げている。



■ 特選 ■
<彦根商工会議所 会頭賞>
「花のれん」 藤野 保

ピンクと赤のコンビネーションがよく、黒い幹がアクセントとして画面を引きしめ、縦構図が効果的。



■ 特選 ■ <毎日新聞社賞>
「溯上」 相田 行雄

梁を溯上するアユ。流れ落ちる白い滝を溯上する瞬間を適格なシャッターチャンスでものにしている。



■ 特選 ■ <彦根青年会議所 理事長賞>
「湖上に咲く」 佐竹 鉄次郎

湖面に映る豪勢な花火。左右対称にきれいに花開く花火と手前の見物人を入れたところがにくい。



■ 無鑑査奨励賞 ■
「朽ち木の叫び」 三島 康嗣

朝か夕方かわからないが、光線が木肌を照し、何にか語りかけてくるよう。画面全体の色調も素晴らしい。

写真部門

展示場所：展示ロビー・視聴覚室（メッセホール棟 1階）

展示No	賞	題 名	氏 名	備 考
1		水 と 草 の 共 演	八 木 祥 光	審 査 員
2		夜 明 け の 干 潟	中 村 一 雄	委 員
3		黄 昏 時	山 口 善 一	委 員
4	市 展 賞	湖 畔 の 夕 照	若 林 武 司	
5	特 選	泥 だ ら け の 天 使	前 河 栄 次	NHK大津放送局長賞
6	特 選	明 日 へ の 階	夏 川 宗 一	彦根タイムス社賞
7	特 選	夜 明 け の 峠 道	高 田 徳 一	彦根ロータリークラブ 会長賞
8	特 選	急 ぎ 足	伊 吹 章	彦根文化新聞社賞
9	特 選	脅 威	強 力 美 津 雄	朝 日 新 聞 社 賞
10	特 選	花 の れ ん	藤 野 保	彦根商工会議所 会頭賞
11	特 選	湖 上	相 田 行 雄	毎 日 新 聞 社 賞
12	特 選	湖 上 に 咲 く	佐 竹 鉄 次 郎	彦根青年会議所 理事長賞
13	佳 作	オニイチャン重いヨー	岩 田 詩 朗	
14	佳 作	廃 屋	速 水 健 司	
15	佳 作	月 下 美 人	清 水 博	
16		早 朝 の 集 い	塩 谷 勉	
17		ス タ ー ト ダ ッ シ ュ	伊 藤 治	
18		夕 日 の 神 事	池 淵 淳	
19		灯 火 の 誘 い	砂 崎 進	
20		ど う だ ! !	川 口 昭 次 郎	
21		ア ー ト の 中 で	下 島 耕 治	
22		彩 流	清 水 哮	
23		夏 本 番	藤 川 清 和	
24		天 を 仰 ぎ て	門 野 久 昭	
25		清 流	馬 淵 捨 次 郎	
26		た そ が れ	脇 規 子	
27		仲 良 し	湯 浅 由 美 子	
28		朝 焼 け の 干 潟	三 橋 武 男	
29		野 焼 き	田 中 信 義	
30		空・湖を照らす松原沖	小 林 三 郎	

展示No.	賞	題 名	氏 名	備 考
31		光 影	高村 利和	
32		ま ん ど う	喜多 捷成	
33		ま ん ど う の 少 年	鈴村 栄子	
34		は や く 早 く !	二階堂 登美子	
35		紫 雲 出 の 雲 海	河分 武士	
36		ラ ン デ ブ ー	津田 吉彦	
37		た ら い 舟	小川 武司	
38		彦 根 城	吉原 正興	
39		湯 神 楽	宮西 新市	
40		火 の 舞	保永 重治	
41		飛 翔 の 滝	正木 喜八郎	
42		秋 の 訪 れ	田中 松子	
43		春 よ 来 い	福本 和男	
44		感 謝 の 舞	南部 輝子	
45		蜜 に 向 か っ て	渡邊 昭夫	
46		昼 下 り	小菅 正一	
47		灯 籠 流 し	小林 正治	
48		睡 蓮	小城 啓介	
49		ハ イ チ ー ズ	白井 逸人	
50		秋 が い く 冬 が く る	白井 展枝	
51		見張ってるからゆっくりしてね!	中村 薫	
52		あ り の ま ま	田島 龍幸	
53		於 泥 華	品居 九一郎	
54		巖 冬 の 灯	北川 蓉子	
55		乗鞍高原 善五郎の滝 (森 林 浴 と 滝 涼)	上田 弘行	
56		春 祭 り	沢田 初枝	
57		か ず ら の つ り 橋	大橋 正一	
58		樹 間 光 彩	北村 秀世	
59		風 渡 る	藤野 直子	
60		お か え り	廣田 由行	
61	無鑑査奨励賞	朽 ち 木 の 叫 び	三島 康嗣	無 鑑 査
62		晩 秋 の 滝	葛山 善基	無 鑑 査

展示No.	賞	題 名	氏 名	備 考
63		老 木 の め ざ め	武 田 吉 正	無 鑑 査
64		里 山	澤 田 賢 二	無 鑑 査
65		で あ い	小 椋 俊 道	無 鑑 査
66		高 原 の 彩 流	石 丸 孝	無 鑑 査
67		静 寂	堀 居 宏	無 鑑 査
68		鳥 人 間 コ ン テ ス ト	池 田 誠	無 鑑 査
69		お 祭 り 大 好 き	和 田 正 吾	無 鑑 査
70		雪 面 落 陽	鈴 木 秀 人	無 鑑 査
71		我 慢	大 前 岳 雄	無 鑑 査
72		溪 流	大 久 保 和 彦	無 鑑 査
73		土 壁 の 光 影	北 村 勝	無 鑑 査
74		春 の 宴	吉 井 知 幸	
75		真 夏 の 競 演	居 原 田 順 治	
76		雪 中 翁 始 式	北 村 隆 彦	
77		朝 露 マ ウ ン テ ン	本 田 義 則	
78		雲 の 狭 間	青 山 敬 子	
79		父 子 で 戯 れ る	高 橋 勲	
80		雨 の 日	平 田 芳 美	
81		躍 動 鯛 祭 り	瀧 波 博 之	
82		梅 花 タ 照	越 智 重 春	
83		扇 の 舞	北 川 剛	
84		緑 樹 魚 影	杉 原 正 樹	
85		光 の ロ ー ド	石 井 勝 男	
86		テ ェ レ チ ャ ウ ナ ー	中 川 清	
87		9 . 8 m / s ²	岸 辺 剛	
88		春 雪	中 瀬 邦 一	
89		栗 栖 大 橋	宮 下 重 和	
90		ト ワ イ ラ イ ト	林 久 雄	
91		飛 び 立 つ と き	若 松 庄 三	
92		女 の 闘 い	加 納 久 男	
93		風 雪 化 粧	了 戒 裕 視	
94		夕 暮 れ の 釣 人	桂 川 知 富	

展示No	賞	題 名	氏 名	備 考
95		ハ イ ジ ャ ン プ	小林 伊三夫	
96		雪 の 華	野坂 秀樹	
97		初 め て の 散 歩	竹山 兵三	
98		勝 負	菅野 哲郎	
99		夜 明 け	佃 義 則	
100		鳶 沼 の 倒 影	小林 佳代	
101		ざ わ め き	元 持 誠	
102		淡 海 の 里	嶋田 加代子	
103		店 番 の 男	新谷 教子	
104		来 年 は 私 も	山口 銀治	
105		キ ャ ッ チ	河崎 彰	
106		飲 ん べ え な 案 山 子	近野 光生	
107		暖	近野 恭美	
108		光 の 部 屋	林 由 之	
109		仲 よ し	森下 繁雄	
110		友 達 に な ろ う !	伊藤 直良	
111		乱 翔	小笠原 勇	

<出品数>

(点)

	一 般	無 鑑 査	委 嘱 等	計
日 本 画	42	3	3	48
洋 画	71	18	4	93
彫 刻	8	3	3	14
美術工芸	36	2	3	41
書	55	13	3	71
写 真	151	13	3	167
計	363	52	19	434

*「無鑑査」…過去に市展賞または特選を3年連続受賞、もしくは通算で5回受賞された方です。無鑑査の方の出品作品は、審査員の審査を受けることなく展示されます。

<入賞および入選数>

(点)

	市展賞	特 選	佳 作	入 選	無鑑査 奨励賞	計
日 本 画	1	3	2	36	1	43
洋 画	1	7	3	60	1	72
彫 刻	1	1	1	5	1	9
美術工芸	1	3	3	27	1	35
書	1	4	4	46	1	56
写 真	1	8	3	83	1	96
計	6	26	16	257	6	311

*「無鑑査奨励賞」…無鑑査作品の中で最も優秀な作品に贈られる賞です。

<審査員および委員>

(敬称略・順不同)

	審 査 員	委 員	
日 本 画	竹 内 浩 一	寺 村 晴 雄	眞 野 康 洸
洋 画	池 田 良 則	佐 渡 一 清	土 屋 幸
彫 刻	九 後 稔	志 萱 州 朗	小 谷 政 雄
美術工芸	安 田 佳 代	廣 野 恭 子	川 端 澄 代
書	雲 山 一 弦	高 萩 有 子	内 西 謹 子
写 真	八 木 祥 光	中 村 一 雄	山 口 善 一



第64回 彦根市美術展覧会



アートフェスティバル～美術と音楽のコラボ～

芸術の秋！美術展覧会期間中に様々な催し物(コンサート・講評会等)を開催します。
皆様のご来場をお待ちしています。

9月13日(日)

入場無料

オープニングコンサート

【出演】市立東中学校吹奏楽部
市立西中学校吹奏楽部
県立彦根東高等学校吹奏楽部



【時間】14時00分開演(開場は13時30分)
【会場】エコーホール

美術展覧会開会を飾る市内中学校・高等学校吹奏楽部
によるコンサートです。

9月20日(日)

入場無料

会場コンサート

【出演】京都當道 琴尚会
(彦根箏曲連盟)
【時間】14時00分開演
【場所】メッセホール



書の展示会場であるメッセホールで行う
コンサートです。

9月19日(土)

入場無料

ウェルカムコンサート

【時間】9時10分～
【場所】エコーホール
【出演】コーラス「るん・るん」

表彰式

【時間】9時30分～
【場所】エコーホール

作品講評会

【時間】11時10分～
【場所】各部門展示会場

表彰式では、市展賞をはじめ、入賞された皆様を表彰します。表彰式前には式を飾るウェルカムコンサートを行い、その後の作品講評会では、各部門の審査員が作品について講評します。

主催：彦根市、彦根市教育委員会

後援：彦根市議会、彦根商工会議所、公益社団法人 彦根観光協会、公益社団法人 彦根青年会議所
彦根ロータリークラブ、彦根南ロータリークラブ、彦根ライオンズクラブ、彦根みずほライオンズクラブ
国際ソロプチミスト彦根、公益財団法人 平和堂財団、大津放送局、びわ湖放送
KBS京都、朝日新聞大津総局、毎日新聞大津支局、読売新聞大津支局、中日新聞社、京都新聞
産経新聞、有限会社 近江同盟新聞社、彦根文化新聞社、彦根タイムス社、滋賀彦根新聞社
エフエムひこねコミュニティ放送株式会社 <順不同>

彦根市美術展覧会事務局（彦根市教育委員会事務局 教育部 文化振興室）

〒522-0055 彦根市野瀬町 187-4 ひこね市文化プラザ・メッセホール棟 1階
TEL.0749-23-7810 FAX.0749-21-3080



未来へのこそう！
彦根城を世界遺産に！